

④時には無視も必要！

今日はまちに待った保育所のクリスマス会です。サンタクロースに扮した先生がプレゼントを届けにやってきました。みんな、楽しそうにサンタクロースからプレゼントを受け取っています。しかし、初めてのことが苦手なりょうくんは、サンタクロースを見るなり、「イヤー」「こわい！！」と大声で泣きわめいて部屋の隅に隠れてしまいました。

さて、こんな時はどうしましょう？

担任のひとみ先生は、とても上手に対応しました。大声で泣いているりょうくんのことは知らんぷり、何事もなかったかのようにふるまいます。りょうくんの傍にも行かず、目を合わすこともしません。しばらくすると、楽しそうな雰囲気が伝わったのでしょうか。りょうくんがそっと部屋の隅から出てきて、じーっとみんなの様子を見始めました。そこで、ひとみ先生は、りょうくんの傍に行って「先生ね、サンタさんからプレゼントもらってん」とプレゼントを見せてあげました。「りょうくんもプレゼントもらいに行く？」と聞くと、恥ずかしそうにうなづき、手をつないでプレゼントをもらいに行きました。



では、りょうくんの例を行動のABCでまとめてみましょう。

行動の前に起こったこと(A)	行動(B)	行動の後に起こったこと(C)
クリスマス会 サンタクロースを見る	「イヤー」「こわい！！」と 大声で泣きわめく()	ひとみ先生：無視(傍に行かず、目も合わせない)

ひとみ先生には、今までの経験から大声で泣いているときに、傍に行って話しかけることが逆効果であることが分かっていたのです。このように、1人にした方が落ち着きやすい場合もあります。「泣いているから話を聞いてあげなくちゃ」と何でもかんでも思い込んでしまうのは危険です。その子に応じた適切な解決策を早目に見つけ出すことが大切なのです。『無視』は悪いことばかりではありません。不適切な行動を減らすために、必要な『無視』もあるのです。



ルール④：不適切な行動は、ときには無視する！

